

# みと 美都



なのはな読書始まる

御津南部小学校  
校長室だより  
令和6年1月29日  
No.38



## 全国学校給食週間です

1月24日～30日は全国学校給食週間です。先週、そして今週と、学校給食週間に合わせて、地場産物を使用した「えいようゴロゴロ！パワーみそしる」「しそ風味のさっぱりぶた大豆」「カラフル野菜カレーいため」「カミカミとりだいこん」といった特別メニューの献立が続いています。いつも以上においしく給食をいただいています。

学校給食は、明治22年、山形県にある私立忠愛小学校で、家庭が貧しくお弁当を持ってこれない子どもたちのために食事を提供したことから始まったといわれています。その後、全国で実施されるようになりましたが、戦争による食料不足で中止されていました。

そして、戦争が終わり、子どもたちの栄養不足を改善するために、外国などからの援助で給食が再開されるようになりました。昭和21年12月24日に再び給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みに入ってしまうため、1か月後の1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」としたのだそうです。

現在では、栄養バランスのよい食事内容はもちろんのこと、給食を通して、子どもたちや保護者の方々に「食」についての様々なことを知ってもらうために、行事食や郷土料理、地元の農産物を活用した献立も取り入れられています。

これからも感謝しておいしく食べましょう。



しそ風味のさっぱりぶた大豆

## これからも「本気で学ぶ授業」を

10月に御津南部小学校は、研究発表会を開催し、参観された方々に、本気で学ぶ子どもたちの姿を披露しました。本校の研究は、日々の授業を大事にする授業づくり、言い換えると、子どもたちの本気の姿のためにひと工夫を大事にする授業実践です。3年間積み上げてきた研究が、今後も続き、さらに進化するように、3学期も、授業研究に職員全員で取り組んでいます。



18日には高学年で、22日には低学年で公開授業が行われました。中学年と支援学級は、今週行います。子どもたちの意欲的な話し合いや楽しそうな表情、前のめりになって課題に取り組む姿、そして、そうした姿を引き出そうと真剣に対峙する先生の姿は、見ていて気持ちのよいものです。これからも「本気で学ぶ」「子どもと教師と」をキーワードに、授業づくりに取り組んでいきます。

# 御津南部小 教育活動についてのアンケート2

【児童アンケートの結果から】※数値は切り捨て

評価が高い項目（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計90%以上）

- ・ 98% ; No.10 「友達の意見を聞いて、「なるほど」と思えることがあった。」
- ・ 97% ; No.19 「交通ルールを守り、危険な所に気をつけて登下校できた。」
- ・ 96% ; No.9 「好きな教科が一つはあり、楽しい授業はたくさんあった。」  
No.3 「そうじや係りの仕事に、いっしょうけんめい取り組めた。」
- ・ 95% ; No.6 「話を聞くときは、話す人の方を向いて真剣に聞くことができた。」
- ・ 94% ; No.1 「楽しいことやうれしいことやよいことがたくさんあった。」  
No.14 「観察したり調べたりする学習活動に興味深く取り組めた。」
- ・ 92% ; No.18 「オーストラリアのシデナム小学校との交流は楽しみだ。」
- ・ 90% ; No.17 「自分や友達の健康にこころがけていた。」



① 評価が低い項目（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計80%以下）

- ・ 60% ; No.16 「休み時間には、外で元気よく体を動かした。」
- ・ 74% ; No.11 「授業中、自分から進んで意見を発表した。」
- ・ 75% ; No.15 「『早ね・早起き・朝ごはん』が、ほとんど毎日、守れた。」
- ・ 79% ; No.8 「読書の時間に、好きな本をじっくりと読むことができた。」

※保護者のご意見は次の号以降でお知らせします。

児童によるアンケートは、学校生活や家庭生活、学習習慣について自己評価をしてもらいました。

学校生活については、およそ半分の項目で、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」という回答が90%を超えました。一方で、二項目で80%を下回り、特に読書についての項目は、大きく数値を下げています。朝の活動を見直していくとともに、読書週間を活用して本に親しむ場を設定していく必要があると考えます。また、90%には届きませんでした。が、「いじめやいやがらせにあうことがほとんどなかった」、「休み時間には、外で元気よく体を動かした」の項目については、7月より数値を大きく上げ、人間関係が良好に築かれてきたことを示しています。

学習習慣（授業や学習への取組）については、「友達の意見を聞いて、『なるほど』と思えることがあった」の回答が98%の高い数値を示し、また、「好きな教科が一つはあり、楽しい授業はたくさんあった」、「観察したり調べたりする学習活動に興味深く取り組めた」の回答も高い数値となっており、授業に臨む姿勢がよい状況にあると言えます。90%は超えていませんが、「習った漢字の読み書きができ生活やほかの教科で使える」の数値が7月より大きく伸びており、日々の着実な取り組みが成果となって表れていると考えます。一方で、「授業中、自分の考えをすすんで発表した」が74%にとどまり、主体的・対話的に取り組む姿に課題を残しています。

また、「『早ね・早起き・朝ごはん』が、ほとんど毎日、守れた。」の回答の数値が、昨年度12月や今年度7月よりも大きく下がっており、子どもたちの忙しい日常や生活環境の変化が伝わってきます。登校や授業の様子をもとに、今後も、家庭との協力や連携を図っていきたいと考えます。

